



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 信義
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岩田 穂
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	40,474	19.2	815	—	481	—	13	—
24年3月期第1四半期	33,957	△13.5	28	△90.8	△87	—	△29	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1,264百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △573百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.03	—
24年3月期第1四半期	△0.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	189,481	—	46,397	—	—	23.6
24年3月期	193,971	—	47,668	—	—	23.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 44,752百万円 24年3月期 46,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の期末の配当については未定であり、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	13.3	1,000	235.4	100	—	△500	—	△1.24
通期	170,000	7.9	3,000	39.2	1,500	18.2	1,000	—	2.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	404,455,680 株	24年3月期	404,455,680 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	314,355 株	24年3月期	313,540 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	404,141,466 株	24年3月期1Q	404,149,164 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
平成25年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～同年6月30日）の我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等による景気回復の動きが見られましたが、欧州債務危機を巡る不確実性の継続や海外景気の下振れなどが懸念されています。

このような経済状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、主としてユニック部門および金属部門の増収により404億74百万円（対前年同期比65億16百万円増）、営業利益は8億15百万円（対前年同期比7億86百万円増）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は以下の通りであります。

産業機械部門の売上高は29億64百万円（対前年同期比8億50百万円増）で、橋梁、環境機器および一般産業機械が増収となり、営業利益は1億19百万円（前年同期は1億64百万円の損失）となりました。

開発機械部門の売上高は54億75百万円（対前年同期比2億83百万円減）となりました。国内向けは油圧ブレーカが復興需要等により増収となった一方、海外向けは北米および欧州向けが回復しましたが、厳しい価格競争の続くアジア向けが不調でありました。営業損失は21百万円（前年同期は25百万円の利益）となりました。

ユニック部門の売上高は50億11百万円（対前年同期比23億28百万円増）となりました。復興需要やエコカー減税・補助金により普通トラック登録台数が対前年同期比229%となり、ユニッククレーンの販売も順調に伸びることができました。営業利益は5億28百万円（前年同期は29百万円の損失）となりました。

産業機械、開発機械およびユニックの機械3部門の合計売上高は134億51百万円（対前年同期比28億95百万円増）、営業利益は6億26百万円（前年同期は1億68百万円の損失）となりました。

金属部門の売上高は184億8百万円（対前年同期比35億38百万円増）となりました。前年同期は共同製錬先の一つが震災のため操業を休止していたことから、当期の電気鋼の販売数量は対前年同期比大きく回復しました。営業利益は1億33百万円（対前年同期比21百万円減）となりました。

電子部門の売上高は14億38百万円（対前年同期比1億83百万円増）で、主としてコイル製品が増収となりましたが主力製品である高純度金属ヒ素等が不振であり、営業損失は23百万円（前年同期は74百万円の利益）となりました。

化成品部門の売上高は12億64百万円（対前年同期比70百万円減）、営業利益は81百万円（対前年同期比16百万円増）となりました。

塗料部門の売上高は37億74百万円（対前年同期比1億65百万円増）で、環境配慮型の粉体塗料および電子部品向け等のコンフォーマルコーティング材に注力しており、売上高が好調に伸ばしたことによって、営業利益は1百万円（前年同期は1億51百万円の損失）となりました。

不動産部門の売上高は、大阪地区の空室率が改善せず、2億65百万円（対前年同期比52百万円減）、営業利益は61百万円（対前年同期比57百万円減）となりました。

燃料部門の売上高は16億78百万円（対前年同期比1億39百万円減）、営業損失は17百万円（対前年同期比6百万円の損失増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は4億81百万円（前年同期は87百万円の損失）となりました。特別利益に受取補償金4億60百万円他、特別損失に投資有価証券評価損3億12百万円他を計上し、四半期純利益は13百万円（前年同期は29百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,894億81百万円で前連結会計年度末に比べ44億90百万円の減となりました。これは主として、受取手形及び売掛金と投資有価証券の減によるものであります。有利子負債（借入金）は870億19百万円で、前連結会計年度末に比べ、12億23百万円の増となりました。純資産は463億97百万円で前連結会計年度末に比べ12億71百万円の減となり、これは主として株価下落によるその他有価証券評価差額金の減によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,156	14,960
受取手形及び売掛金	29,686	26,517
有価証券	49	51
商品及び製品	12,526	13,396
仕掛品	6,399	6,889
原材料及び貯蔵品	11,882	10,853
その他	6,915	7,067
貸倒引当金	△118	△126
流動資産合計	81,498	79,610
固定資産		
有形固定資産		
土地	58,653	58,704
その他（純額）	26,432	26,187
有形固定資産合計	85,085	84,891
無形固定資産		
のれん	437	459
その他	210	202
無形固定資産合計	647	662
投資その他の資産		
投資有価証券	23,146	21,090
その他	5,142	4,764
貸倒引当金	△1,548	△1,538
投資その他の資産合計	26,740	24,316
固定資産合計	112,473	109,870
資産合計	193,971	189,481
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,022	22,099
短期借入金	30,938	32,844
未払法人税等	458	304
引当金	222	290
その他	17,165	16,527
流動負債合計	74,807	72,064
固定負債		
長期借入金	54,857	54,175
引当金	1,878	1,921
資産除去債務	196	197
その他	14,563	14,724
固定負債合計	71,495	71,018
負債合計	146,303	143,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	15,705	15,718
自己株式	△46	△46
株主資本合計	43,866	43,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,161	318
繰延ヘッジ損益	△190	△15
土地再評価差額金	3,577	3,577
為替換算調整勘定	△3,393	△3,009
その他の包括利益累計額合計	2,155	871
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,593	1,592
純資産合計	47,668	46,397
負債純資産合計	193,971	189,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	33,957	40,474
売上原価	29,736	35,235
売上総利益	4,221	5,238
販売費及び一般管理費	4,192	4,423
営業利益	28	815
営業外収益		
受取配当金	196	136
その他	316	135
営業外収益合計	512	272
営業外費用		
支払利息	365	329
休鉱山管理費	146	142
その他	116	134
営業外費用合計	628	605
経常利益又は経常損失(△)	△87	481
特別利益		
受取補償金	—	460
投資有価証券売却益	2	—
その他	5	6
特別利益合計	8	466
特別損失		
投資有価証券評価損	34	312
災害による損失	121	—
その他	44	2
特別損失合計	199	315
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△278	633
法人税、住民税及び事業税	63	348
法人税等調整額	△204	275
法人税等合計	△140	624
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138	9
少数株主損失(△)	△108	△4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29	13

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△138	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△673	△1,855
繰延ヘッジ損益	41	179
為替換算調整勘定	79	216
持分法適用会社に対する持分相当額	117	185
その他の包括利益合計	△435	△1,274
四半期包括利益	△573	△1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△448	△1,269
少数株主に係る四半期包括利益	△125	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	2,113	5,758	2,682	14,869	1,255	1,335	3,609
セグメント間の 内部売上高又は振替高	245	4	16	154	3	206	2
計	2,359	5,762	2,699	15,023	1,258	1,541	3,611
セグメント利益又は損失 (△)	△164	25	△29	154	74	65	△151

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	317	1,817	33,759	198	33,957	—	33,957
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	81	749	307	1,056	△1,056	—
計	351	1,899	34,508	505	35,014	△1,056	33,957
セグメント利益又は損失 (△)	118	△10	81	△30	51	△22	28

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	2,964	5,475	5,011	18,408	1,438	1,264	3,774
セグメント間の 内部売上高又は振替高	571	9	23	111	2	228	8
計	3,535	5,484	5,034	18,519	1,441	1,492	3,783
セグメント利益又は損失 (△)	119	△21	528	133	△23	81	1

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	265	1,678	40,280	193	40,474	—	40,474
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	82	1,072	332	1,404	△1,404	—
計	300	1,761	41,352	525	41,878	△1,404	40,474
セグメント利益又は損失 (△)	61	△17	864	△22	841	△26	815

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△26百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△21百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

金属前提

			対前年同期増減	
銅価	第1四半期決算	\$/mt	7,867	△ 1,285
	第2四半期累計予想	\$/mt	7,745	△ 1,325
	年度予想	\$/mt	7,873	△ 612
為替	第1四半期決算	円/\$	80.2	△ 1.5
	第2四半期累計予想	円/\$	79.9	0.1
	年度予想	円/\$	78.4	△ 0.6

平成25年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2012年8月6日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	10,555	13,451	2,895
（産業機械）	(2,113)	(2,964)	(850)
（開発機械）	(5,758)	(5,475)	(△ 283)
（ユニック）	(2,682)	(5,011)	(2,328)
金属部門	14,869	18,408	3,538
電子部門	1,255	1,438	183
化成品部門	1,335	1,264	△ 70
塗料部門	3,609	3,774	165
不動産部門	317	265	△ 52
燃料部門	1,817	1,678	△ 139
その他	198	193	△ 5
【合計】	33,957	40,474	6,516

平成25年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
27,700	2,712	58,600	5,401
(6,200)	(1,214)	(14,100)	(1,150)
(13,200)	(431)	(26,800)	(2,656)
(8,300)	(1,066)	(17,700)	(1,594)
36,600	5,163	72,000	3,885
2,800	278	6,200	1,584
2,700	21	5,400	212
7,950	506	15,500	625
550	△ 84	1,000	△ 233
5,100	1,038	10,300	723
600	207	1,000	233
84,000	9,843	170,000	12,433

〔営業利益〕

	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	△ 168	626	795
（産業機械）	(△ 164)	(119)	(283)
（開発機械）	(25)	(△ 21)	(△ 46)
（ユニック）	(△ 29)	(528)	(558)
金属部門	154	133	△ 21
電子部門	74	△ 23	△ 97
化成品部門	65	81	16
塗料部門	△ 151	1	153
不動産部門	118	61	△ 57
燃料部門	△ 10	△ 17	△ 6
その他	△ 30	△ 22	8
（計）	51	841	790
調整額	△ 22	△ 26	△ 3
【合計】	28	815	786

平成25年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
940	726	2,550	579
(250)	(337)	(850)	(141)
(150)	(23)	(500)	(166)
(540)	(365)	(1,200)	(271)
△ 100	△ 189	△ 150	△ 458
△ 50	△ 40	150	384
200	72	350	98
5	204	10	339
70	△ 128	170	△ 186
0	22	20	33
△ 25	38	△ 75	18
1,040	705	3,025	809
△ 40	△ 3	△ 25	35
1,000	701	3,000	845